※令和４年度以降入学生用

学校番号	1207

令和５年度　学教養科

教科	学 教養	科目	教養 トレーニング②	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	・基礎学力養成用問題集 ・未来手帳カスタマイズ版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎朝 10 分の決められた課題とスケジュール管理を行うことで、自らの予定把握やペースを作ってもらいたい。

毎日 10 分の学習を日々行うことで、少ない時間でも継続することで得られる効果や積み重ねていくと大きな時間や量につながることを感じてもらいたい。

２　学習の到達目標

・　将来の職業生活を営む上で必要な基礎学力を培う。
・　スケジュール等の自己管理能力を培う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	職業生活を営む上で、必要な知識が身に付いたか	スケジュールの把握から自己管理能力が身に付いたか	日々の課題に対して、しっかり取り組めているか
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
４月～10月	基礎学力の養成とスケジュール管理	漢字や計算等のドリル 毎日のドリル学習(主に国語、数学) 手帳を利用したスケジュール管理	a:課題の完成度 b:スケジュール管理の手帳の活用具合 c:授業に積極的に参加したか	課題提出	手帳提出	出席状況
11月～３月	一般的な知識の習得とスケジュール管理	一般知識等のドリルや時事に関する新聞記事等の閲覧 手帳を利用したスケジュール管理	a:課題の完成度 b:スケジュール管理の手帳の活用具合 c:授業に積極的に参加したか	課題提出	手帳提出	出席状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度